

## 消化器癌におけるUSP44発現と染色体不安定性・タキサン系抗癌剤感受性に関する研究

### ・ 背景

USP44 は 12 番染色体ある酵素の一つで、染色体が分裂するときに正常な分裂を誘導する働きをしています。USP44 の適切な発現は発癌を抑制すると言われてはいますが、実際の癌においてどのように発現しているかは明らかにはされていません。

### ・ 対象

1994 年 1 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日までに九州大学消化器・総合外科で胃癌、大腸癌の切除術を行った方、各 200 名を対象とします。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

### ・ 研究内容

当科にて胃癌、大腸癌の手術を受けられた方の臨床情報(年齢、性別、身長、体重、病歴、臨床病期)、血液検査所見(腫瘍マーカー:CEA,CA19-9)、病理学的所見(免疫組織学的所見(USP44、BubR1、PDL1、Mad2、Aurora A、Aurora B)、病期)、治療(手術療法、化学療法、放射線療法)、染色体情報(染色体不安定性、p53 変異、USP44 変異、BubR1 変異)を取得し、USP44 の発現との関連性を解析します。

また、手術後の患者の経過を通して、生存率の調査を行います。

この研究を行うことで患者に日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

### ・ 個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科学分野においては、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文)の際には、患者を特定できる情報は一切含まれません。

### ・ データの二次利用について

本研究で得られたデータは将来別の医学研究に二次利用する目的で本研究終了後も保存します。ただし、二次利用するデータは将来新たに計画・実施される医学研究が倫理審査委員会で承認された後に利用します。もし患者さんよりデータの二次利用を希望されない連絡があった場合は、該当するカルテ情報は研究終了後、九州大学大学院外科学研究院消化器・総合外科学分野において同分野教授前原喜彦の責任の下、研究用の番号を消去し廃棄します。

## ・研究期間

研究を行う期間は承認日より 2018 年(平成 30 年)3 月 31 日までとします。

## ・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は消化器癌の病態解明及び新しい治療法の発見の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

## ・研究機関

研究責任者：

九州大学大学院外科学研究院消化器・総合外科学分野・教授 前原 喜彦

研究分担者：

九州大学医学研究院 形態機能病理学分野	教授	小田 義直
九州大学外科分子治療学講座	准教授	沖 英次
九州大学病院 医病消化管外科 (2)	講師	佐伯 浩司
九州大学病院 医病消化管外科 (2)	助教	大垣 吉平
九州大学病院 医病消化管外科 (2)	助教	安藤 幸滋
九州大学がん分子病態学	助教	中島 雄一郎
九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野	大学院生	西村 章

研究事務局：

九州大学病院消化器・総合外科医局長室

連絡先担当者：

九州大学大学院医学系学府 消化器・総合外科学分野大学院生 西村 章

電話：092-642-5466 E-mail：s\_nishi@surg2.med.kyushu-u.ac.jp